

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アマダ技術教育センター新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県伊勢原市石田200	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22の指定地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	事務所、集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年4月25日
敷地面積	7,572 m ²	作成者	(株)竹中工務店一級建築士事務所
建築面積	3,530 m ²	確認日	2023年4月25日
延床面積	5,203 m ²	確認者	(株)竹中工務店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
小田急小田原線愛甲石田駅から徒歩で10分の工業地域に、事務所と集会所の複合用途の技術教育センターを、S造、3Fにて計画した。		
Q1 室内環境 教育センターは拡散型トップライトを採用することで、輝度差の少ない教育環境としている。シミュレーションを実施し、昼光利用の可能性についても検証を行った。	Q2 サービス性能 事務所エリアの天井高は2.8mとし、屋外を眺めることができるよう窓を設けた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地外からの見え方に配慮し、屋上の設備機器目隠しやトップライトの位置を調整した。周囲建物との調和を意識し、周囲になじむ外観とした。
LR1 エネルギー トップライトの採用による積極的な昼光利用により省エネルギーに配慮した。 BEIm=0.66、LED照明設備を採用している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加えて、節水型便器も採用している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用せず、敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される